

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

年度	令和２年度
タイトル	高齢者の自立支援，介護予防，重度化防止の推進及び介護給付の適正化
区分(あてはまるものにチェックを)	☒ 自立支援，介護予防，重度化防止 ☒ 介護給付適正化

現状と課題

当町では宅地造成及びマンションの建設により人口が微増するとともに，高齢化率も増加している。

その中で，特に７５歳以上の後期高齢者人口が急激に増加している状況である。

このことにより，介護を受ける人の増加が見込まれ，高齢者の自立支援，介護予防，重度化防止対策が課題となっている。

【海田町人口】	29,857人（H30.3末）	29,909人（H31.3末）
	30,097人（R2.3末）	30,387人（R3.3末）
【後期高齢者数】	3,318人，11.1％（H30.3末）	3,423人，11.4％（H31.3末）
	3,531人，11.7％（R2.3末）	3,639人，12.0％（R3.3末）

第７期における具体的な取組

- ① 住民主体の地域づくりの強化，② 介護予防の仕組みづくりの強化
 - いきいき百歳体操の普及
- ③ 自立支援型ケアマネジメントの強化
 - 自立支援型ケア会議の実施
- ④ 介護給付の適正化
 - ケアプラン点検の実施

目標（事業内容、指標等）

- ・いきいき百歳体操の開催個所数
（H29）15個所⇒（H30）18個所⇒（R1）21個所⇒（R2）24個所
- ・第１号被保険者の要支援１・２の認定率
（H29）4.3％⇒（H30）4.2％⇒（R1）4.2％⇒（R2）4.1％
- ・自立支援型ケア会議の開催数
（H29）12回/年⇒（H30）12回/年⇒（R1）12回/年⇒（R2）12回/年
- ・ケアプラン点検事業所数
（H29）1個所/年⇒（H30）1個所/年⇒（R1）1個所/年⇒（R2）1個所/年

目標の評価方法

● 評価の方法

- ・いきいき百歳体操
実施個所数が増加しているか。
- ・第1号被保険者の要支援1・2の認定率
認定率が低下しているか。
- ・自立支援型ケア会議の開催数
会議の開催数が年12回を継続できているか。
- ・ケアプラン点検事業所数
点検事業所数が年1箇所を継続できているか。

取組と目標に対する自己評価シート(自己評価結果)

(実績評価)

実施内容
① 住民主体の地域づくりの強化, ② 介護予防の仕組みづくりの強化 ○いきいき百歳体操の普及 リハビリテーション専門職(作業療法士又は理学療法士)及び保健師により住民主体の通いの場(いきいき百歳体操)の立ち上げを支援した。また, 立ち上げ後も定期的(3か月後, 1年後)に支援した。 (R2 新規実施場所: 3 箇所) (R2 専門職派遣支援回数: 21 回) ③ 自立支援型ケアマネジメントの強化 ○自立支援型ケア会議の実施 自立支援に資するケアマネジメントを利用者に提供するため, 多職種による自立支援型ケア会議を実施した。(R2: 8 回実施, 23 ケース検討) ④ 介護給付の適正化 ○ケアプラン点検の実施 介護給付の適正化を図るため, 適正なケアプランであるかを確認するため, 居宅介護支援事業所に出向いてケアプラン点検を実施した。(R2: 1 箇所実施, 3 事例点検)
自己評価結果 【 】←(◎, ○, △, ×のいずれかを記載してください。)
・いきいき百歳体操の開催箇所数【自己評価: ◎】 (R2) 24 箇所(計画)⇒25 箇所(実績) ・第1号被保険者の要支援1・2の認定率【自己評価: △】 (R2) 4.1%(計画)⇒4.4%(実績) ・自立支援型ケア会議の開催数【自己評価: △】 (R2) 12 回/年(計画)⇒8 回(実績) ※新型コロナウイルス感染症予防対策等のため4回中止 ・ケアプラン点検事業所数【自己評価: ◎】 (R2) 1 箇所/年(計画)⇒1 箇所(実績)
課題と対応策
・いきいき百歳体操の実施 いきいき百歳体操の未実施地区があることから, 実施に向けての働きかけ及び支援を行うとともに, 既に実施している場所については, 継続的に活動できるよう支援を行う。 ・自立支援型ケア会議の実施 ケアマネジャーのケアプラン作成能力の向上及び規範的統合が必要であり, 会議を継続して実施することで課題の解決を図る。

※「◎達成できた、○概ね達成できた、△達成はやや不十分、×全く達成できなかった」